

【お知らせ】 ダイハツ 初代「シャレード」が 2025 日本自動車殿堂 「歴史遺産車」に選定



初代シャレード

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）が 1977 年に発売した初代「シャレード」が、特定非営利活動法人日本自動車殿堂が選定・登録する「歴史遺産車」に選定され、本日表彰式が行われました。

ダイハツ製品が「歴史遺産車」に選定されるのは、2007 年の初代「ミゼット」、2017 年の「ダイハツ ツバサ号三輪トラック」に続き、3 回目になります。

今回の選定においては、「シャレードは独自の技術で開発した乗用車で世界初の量産 1000 cc 4 サイクル 3 気筒エンジンを搭載。十分な室内空間を確保。高い経済性と安全性を実現し、国産大衆車の新たな指針となった」ことが評価されました。

初代「シャレード」は、「広くて小さい快適な経済車」をコンセプトに開発され、1977 年 11 月に発売されたダイハツを代表する小型車です。翌年(1978 年)6 月には生産累計台数が 5 万台に達するなど人気を博し、9 月にはスポーティなクーペモデルも追加発売されました。

「シャレード」は、1983 年 1 月に 2 代目、1987 年 1 月に 3 代目、1993 年 1 月に 4 代目を発売し、欧州をはじめとした海外にも輸出され、国内外のお客様からご愛用いただきました。累計生産台数は 165 万台^{※1}を越えます。

※1：1977 年～2000 年までの国内生産台数、ダイハツ調べ。

◆特定非営利活動法人日本自動車殿堂

【公式ホームページ】 <https://www.jahfa.jp/>

以上